

局長級人事異動 知事コメント

(令和3年3月24日)

- 1 今春の局長級人事は、直面している危機である新型コロナウイルス感染症との闘い、間近に控えた東京2020大会、そして、「成長」と「成熟」が両立した持続可能な東京の実現に全庁を挙げて取り組んでいくため、実力本位の配置を行った。
- 2 東京の成長戦略の実現にはデジタルの力が欠かせない。新設するデジタルサービス局長には、DXの推進等に尽力してきた安定感のある寺崎戦略政策情報推進本部長を配置し、東京のDXを更に推し進める。同様に新設する政策企画局国際金融都市戦略担当局長には、所管事業に精通し、調整力に優れた児玉戦略政策情報推進本部次長を登用する。
- 3 首都の防災対策を担い、新型コロナウイルス感染症対策の先頭に立つなど全庁の要となる総務局長には、実行力に優れ、高いマネジメント力を有する黒沼中央卸売市場長を配置する。
- 4 都市インフラの更新・再構築を担う下水道局長には、下水道事業に精通する神山下水道局技監を昇格させる。
- 5 東京消防庁では、定年を迎える安藤総監の後任として、消防現場を熟知し、統率力に優れた同庁の清水次長を昇格させる。
- 6 また、中嶋政策企画局長は年度末で定年を迎えるが、真に持続可能な東京を築く羅針盤である「『未来の東京』戦略」の実行体制を都庁一丸となって強力に推し進めるため、当面、勤務延長を行う。
- 7 その他の局長等には、現職で高い成果をあげている女性部長級職員を登用するなど、能力・実績を重視した配置を行い、都政の重要課題に即応できる体制を確立した。
- 8 今回の新任発令は、4月1日付で実施する。